

平成31年 2月 1日(金) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

第14回商大附高祭 開催

2018.10.27・28



10月27日(土)、28日(日)に第14回商大附高祭が開催されました。テーマは「On your STAGE ~主役は君だ~」でした。初日の土曜日は、朝方は曇っていましたが、一般開放のお昼頃からは穏やかな天候となり、また、翌日の日曜日にも良い天候に恵まれ、地域の方々、生徒友人、保護者、卒業生など、前回の商大附高祭を超える約5000人の方々にご来場いただきました。内容も、屋外ステージでの応援同好会がダンスを披露したり、一般生徒のダンス大会、特技かくし芸、男装女装仮装コンテスト、O×クイズなど、講堂や音楽室では、歌うま sing!sing!sing!、吹奏楽部・軽音楽部・音楽部・応援同好会の演奏・演技、演劇部・放送部の発表など、校舎内や模擬店では、42の文化部、科・コースが出展し、後夜祭では初めての試みでチューバーのPOCKET WIZさんを招き非常に盛り上がりました。ご来場いただきましたみなさん、ありがとうございました。

第83号
2019・2

挨拶



父母の会会長
生沼英治

新年明けましておめでとうございます。日頃は父母の会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。早いもので今年度も残りわずかとなりました。至らない会長でしたが役員の方々に恵まれて無事に大役を努めることができました。減多にできない貴重な体験ができ、子供と一緒に親もこの学校で学ばせていただいたような気がします。

三年間子供をこの学校に通わせて私学の良さを実感しました。それは商大附高が私学ならではの変わらない伝統と長く続く歴史を持っているということ。ご自身もこの学校の卒業生という父母の方が多く、また兄弟姉妹でこの学校に通っている生徒さんも多いことが証明していると思います。また一方で商大附高はとても多

様性のある学校だと思えます。コー

スが多様で選択肢がたくさんあります。進学を目指して勉強を頑張りたい生徒にも、ビジネスに役立つ簿記や情報処理を学び資格にチャレンジしたい生徒にも、国際的な体験をしたい生徒にもそれぞれに選択肢があります。また部活を頑張りたい生徒にも運動部、文化部に活躍できる場が用意されています。勉強や運動、文化祭などの学校行事、ボランティアなど生徒それぞれに自分の興味や得意分野を活かして一人一人が輝ける場があると思います。海外からの留学生がいることもとてもいいことだと思います。これから世の中がますますグローバル化する時代に高校生時代に多様性を経験することはとても大切なことです。子供たちの将来にきつと役に立つと思えます。

これから私学ならではの良さを活かしてますます発展してほしいと願います。あつという間の三年間で子供の卒業とともに父母の会も卒業になってしまふのが少し寂しいような気がしますがこれからは「チーム商大附」の一員として商大附高の発展を心から祈っています。

挨拶



校長
高橋洋一

皆さん、新年あけましておめでとうございます。校長の高橋です。父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育にご理解ご協力くださいまして、心より感謝申し上げます。

今年の干支（えと）は、亥年（いどし）です。亥年は、今の繁栄した状態を維持するように、守りに徹した方が良い年とされています。また、猪の肉は万病さえも防ぐ、予防する力があるとされており、亥年は「無病息災」の意味もあるそうです。何事も健康でないと始まらないことがありますので、「無病息災」には、是非ともあやかりたいものであります。「一年の計は、元旦にあり」という言葉もあります。元旦には新しい気持ちで願いや決意をした方も多いのではないのでしょうか。新

たな決意と目標を持って新たな挑戦を始めることはとても大切です。マリナーズのイチロー選手（四十

五才）は、昨年十二月二十三日、愛知県・豊山町で開催された、「第二十三回イチロー杯争奪・学童軟式野球大会」の閉会式に出席し、少年少女に向かって、「自分でできると思ったことは、必ずできるとは限らないけど、できないと思ったことはできない。自分の中で可能性を決めないで。」とエールを送りました。本校生徒も自分の中で、可能性や限界を決めないで、自分の作った壁を取り払って、ポジティブ・シンキングで、目標に向かって取り組んでほしいと願っています。

さて、昨年をふり返りますと、平成三十年の世相を表す「今年の漢字」は、『災』に決まりましたが、「天災」では西日本豪雨や北海道胆振東部地震、大阪府北部地震、台風二十一号、二十四号の上陸など自然災害が相次ぎ、防災や自助・共助への意識が高まったことが反映されたようです。また、「人災」では、仮想通貨の不正流出やスポーツ界のパワハラ問題、大学不正入試問題、財務省決裁文

書改ざん等が挙げられました。今年は、「災い転じて福となす」年であってほしいと願う次第です。

本校の二期をふりかえってみますと、最大の学校行事は、何と云っても商大附高祭でした。十月

二十七日、二十八日の二日間、天候にもめぐまれて、予定通り無事に実施することができました。今回の文化祭のテーマは「On your STAGE」主役は君だ〜」であり、生徒諸君には自主自立と校訓

の実践を通して「品位と節度のある文化祭」を創り上げるようお願いしました。それに応えて生徒一人一人が先生方の話をよく聞きマナーを守って、参加していただきました。高校生、中学生、卒業生、保護者、一般の方々等が来校され本校への来場者数は、二日間で総計約五千名に迫る過去最多となり

ました。第十四回商大附高祭では、本部企画が十三本、参加団体が四十七ありましたが、特に中庭の野外ステージ周辺には人だかりができるほど盛り上がりを見せていました。自主自立と校訓の実践が、発揮されて、トラブルが全くなく、落ち着いた雰囲気の中で進行し、野外ステージも今回で三

回目となりましたが、すっかり定着したように見えます。次回は二年後、現一年生の皆さんが今回の経験をかかしてさらに良い文化祭を目指してくれることを期待しています。

部活動関係では、九月に行われた国体に、空手道、フェンシングが出場し、空手道の女子個人組手で小峯杏子さんが頑張つて第四位に入賞する活躍を見せてくれました。また、二期に五回に亘って読み上げた賞状の数は百七十二枚でありました。一学期は百二十二枚でしたので、それを上回る結果を残してくれました。また、体育施設関係では九月に新しい武道館建設が、体育館の西側の敷地で着工され、これまで順調に進み今年の三月には完成予定です。

また、三年生にとっては、二期は進路決定が始まる重要な時期でもありました。昨年十二月末で進学は約二百七十名が合格し、就職も四十五名が内定、約三百十五名の進路が決定し残り百名弱が年を越して進路達成をめざしております。大学入試センター試験に挑んだ生徒は八十名おります。また、センター試験後、一般入試もござ

います。最後まで諦めずに取り組み、進路を決めて卒業してください。先生方も最後まで応援してゆきます。

二年生は、十二月の期末テスト後、恒例の性教育を実施し、『性

から『生』へ』をテーマにグループ毎にアクティブラーニングの形式で考える授業がありました。また、三期には、二年生は修学旅行を実施いたしますが、修学旅行中の平和教育を通して、命の大切

さについて引き続き考えていってほしいと思います。海外と国内とに分かれて実施されますが、事前に十分な下調べをして、有意義な修学旅行になるよう準備していただきたい。また、インフルエンザの予防接種もしておいてください。私事ですが、過去に修学旅行前にインフルエンザにかかり、苦しんだことがありますので、すでに

予防接種を済ませております。一年生は、高校生活にもだいぶ

慣れてきた頃と思います。この一年間「クラッシー」を導入して、学びの記録をしてきたわけですが、授業や行事を終えた後のふり返り、アンケートへの回答、学習時間の記録、商大附高祭の感想など、様々

に利用してくれたようです。また、一年生は、二月の二年生の修学旅行の期間中、『特別編成授業』が行われます。進路講演会や模擬試験、また高崎商科大学の先生方にお世話になって、大学で体験授業が予定されていますが、大学や短大について知る良い機会になればと思います。また、進路未定の生徒には、ぜひ自分自身と向き合つて自分の進路の方向を決めて下さい。

三期は短い学期ですが、一人一人が自分の目標をしっかり持つて、学習に、部活動に、学校行事に、資格取得等において良い成果を出してこの一年間を締めくくってくださることを願っています。

最後になりますが、父母の会員の皆様には、どうぞ、引き続き本校の教育にご理解とご協力をください。よろしくお願いいたします。ご多幸、ご活躍を祈念申し上げます。平成三十一年、新年のご挨拶とさせていただきます。



本部役員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 儘田 文子

謹んで新年のお祝いを申し上げます。早いもので、もうすぐ一年が終わろうとしています。三年間の月日さえあつという間に過ぎ淋しさを感じています。沢山の行事に参加させて頂く事は自身の成長に繋がり、多くの方との交流で学べた事に感謝しております。

三年生にとっては二回目となる商大附高祭も笑顔で楽しさの中に団結力などを学び、高校生活の良き思い出となった事でしょう。色々な行事を通じ沢山のひとりと力を合わせ、助けももらっているという事を忘れずに今後に役立て成長していく姿を楽しみにしたいと思います。

残りわずかとなりましたが、まだまだ助けて頂きながら役員として出来る事を悔いのない様に楽しみ子供達と一緒にゴールを目指し頑張りたいと思います。

最後に会員の皆様、役員、先生

方、関係者の全ての方々のご多幸と商大附高の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

副会長 小野里 誠

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度もいくつかの行事に参加させて頂きました。その中でもまず印象に残っているのは、群馬県高P連總會です。群馬県の高校の役員等が一堂に会する規模には圧倒されました。そしてもう一つ商大附高祭です。ご来場いただいたお客さまの人数の多さに驚くとともに、生徒たちの活気に満ち溢れた姿を見ることができました。どちらもとても規模の大きい行事に参加させて頂いたいただき、大変貴重な経験をさせて頂いたいただきありがとうございます。

最後になりましたが、皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

副会長 細谷 武司

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれまし

ては健やかに新年をお迎えのことお慶び申し上げます。今年一年を振り返ってみますと、私自身高校の本部役員は、はじめての事で少々不安な点もございましたが、会員の皆様、そして教職員、事務局の皆様のご協力のもとなんとか無事一年間役員として終える事ができました。

父母の会の活動としては、総会、学級懇談会、私学見学会等、いろいろな行事に参加させて頂きました。一番印象に残っているのは今年度行なわれた商大附高祭です。父母の会として出店させて頂いたいただいたエンジェルカフェでは皆様のご協力のもと私自身いろいろと勉強させて頂きながら、楽しい二日間を過ごさせて頂いた事ができました。

最後になりましたが今年度も残り僅かとなりました。残された行事にも積極的に参加し、ご協力させて頂いたきたいと思います。皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

書記 榎本 恭子

一年を振り返って思うことは「楽しかった」につきます。これま

で様々な役員をさせて頂きました。この学校の活動ほど張り合いを持って行えたことはなかったように思えます。特に本年度は商大附高祭もあり活動には一層の協力が必要となりましたが、ご参加された一人一人が意欲的で気持ちよさを感じておりました。出会えた方々はもちろん役員活動そのものが私にはプラスであり、貴重な機会を本当に感謝しております。

また、こうしたやりがいを持ってたのも子どもに愛校心があり安心した高校生活を送れることに繋がっていると思います。親子共々高校に育てて頂き、一年一年が満喫できたのだと感じ入っております。役員を受けた意義も改めて見直すことができました。一年でございました。

書記 笠原 美穂

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

会員の皆様には父母の会総会、懇談会などご協力を頂き、感謝申し上げます。

今年度の行事として思い出深い

のは二日間開催された文化祭です。父母の会として「エンジェルカフェ」をお手伝いさせて頂き子供達や多くの保護者の方々と触れあうことができた貴重な経験ができた事に喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度も残りわずかですが子供達が素敵な高校生活を送れる様、微力ではあります協力させていただきます。

会計 岡田将彰

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年度も残りわずかとなりましたが、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。多くの事業がありましたが、特に商大附高祭が、私の脳裏に強く焼き付いています。

会員の皆様と生徒のご協力により、父母の会恒例の『エンジェルカフェ』に、たくさんの方がお越しください本当にありがとうございます。今年度は役員としては文化祭が最後なので『カフェ』を宣伝するときは、日頃の父母の会のご協力に感謝の気持ちを込めながらを広告（ビラ）の配付をしてお

りました。合間をみては文化祭のイベントや模擬店などにも参加していこうと思いい、全てに参加や見学することできました。生徒一人一人が作り上げた文化祭を生徒や先生方と一緒に楽しむことが出来ました。

三年生の我が子のクラスの子供たちが『お父さん一緒に集合写真を録りましょう』と言ってくれ、私にとっては記念に残る一枚の写真になりました。本当に楽しくて思い出に残る二日間でした。役員の経験を重ねることにより、父母の会の大切さをよりいっそう感じ一年でもあり有意義な一年でもありました。最後に商大附高の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

会計 古井戸克司

新年明けましておめでとうございます。今年度を振り返って、最も印象に残っているのは、商大附高祭です。生徒と教職員、そして父母の会、後援会が一体となって文化祭を盛大に開催できました。生徒が主人公であることはもちろんです。学校に携わる多くの方々が、文化祭を成功させ

るんだという意気込みが感じられました。父母の会でも、喫茶コーナーを出店しながら、文化祭を楽しむことができました。そして、父母の会役員間の親睦、交流が図れたと思います。また、地域のみ

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



今井真理

卒業おめでとうございます。本当に良く頑張りましたね。休む事なく楽しんで通学して行くあなたを見て安心する事ができました。また、いろいろな資格にも挑戦し、スキルアップしてきましたね。とても大変だったと思います。でもそんな大変な時でも楽しさに変え、挑戦していく姿は、とても輝いていました。

これから新しいスタートですね。楽しい事、つらい事、不安な事、いろいろあると思いますが、自分の人生を大切に生きてほしいと思います。人との出会いを大切に素直な心で相手が何を伝えたいのか受け取れる人になって下さい。

なさまも多く来場されて、商大附高が、地域の方々からも愛されていることを実感しました。引き続き、すべての生徒が、楽しく学校生活を送れるよう、父母の会の活動を続けていければと思います。

素直でいる事、敬意の気持ち、そして、感謝の気持ちを忘れないで下さい。これは母の願いです。

あなたの親になれて心から幸せです。これからの人生、光り輝く素敵なものになりますよう、見守っています。

最後になりましたが、三年間ご指導して下さった先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

石井雅美

卒業おめでとう。

もう三年も経つのですね。無我夢中で通い始め、良い友人に出会い、楽しく演劇部に打ち込んでいた姿が、つい昨日のようです。不器用な娘が、大道具なんて出来る

のか、と心配もありましたが、やりがいあるんだよ、と嬉しそうに話す姿に、成長を感じ嬉しく思いました。大会を観に行く楽しさも、教えてもらいましたね。様々な事を経験した部活動は、貴重な時間になりましたね。

クラスの友達と楽しそうに過ごしていることを聞く度に、商大附高に通えてよかった、と感謝するばかりです。

これから、笑顔・感謝・努力を忘れずに、夢に向かって前進していつて下さい。いつでも応援しています。そして、味方ですよ。

最後に、ご指導下さった先生方に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。

樋口大輔

卒業おめでとうございます。入学してから早いもので、三年間がまたたく間に過ぎました。高校生活で学んだ事をこれからの人生に役立つようにしてもらえれば幸いです。これからの人生、勉強だけでは乗り超える事の出来ない事もたくさんあると思います。物事から逃げず、諦めず、努力して日々邁進して下さい。

努力は人を裏切ることはありません。日々の積み重ねが自分自身を強くします。

壁にぶつかった事も幾度となくありました。その時々で、先生方や、友人に親身になってご指導、相談に乗っていただき無事に卒業出来る事を感謝し、これからの人生に生かして下さい。親として、子供が一步一步、大人に成長していく姿を陰ながら応援していきたいです。

最後になりますが、三年間という月日、常に子供達のために労力を惜しまず温かい眼差しでご指導、ご鞭撻して下さい商大附属高校の皆様、本当にありがとうございます。親子共々感謝しております。これからも、先生方の熱い、心のこもった指導で、生徒達と接して下さい。

唐澤美香

小学校での夢「商大でバレーがやりたい!」と、言っていたあの頃が、つい最近のように思いますが、早いものでもう、卒業ですね。そんな夢を抱えながらも悩み進んだ、商大バレー。三年間、本当にお疲れさま。苦しいこと・悩んだ

こと・悔しかったこと・楽しかったこと、たくさん思い出があると思います。その中で自分のやるべきことを考え、役割を知り成長してきたあなたを誇りに思います。仲間と過ごし頑張ってきた、この時間は宝です。この三年間で学んだ礼儀や人への感謝の気持ちを忘れずに、この先新たな夢に向かって、頑張ってください。これから、あなたの進む道を見守り、応援していきたいと思えます。最後までご指導下さった諸先生方に心より感謝申し上げます。

山室政志

卒業おめでとう。私達、父母にとっては、あつという間の三年間でしたが、貴方はどうでしたか?

三年前、自分で考え悩み決めた商大附への入学。沢山の友達にも恵まれ、勉強や私生活でも、とても貴重な経験や時間を過ごせたかと思えます。担任でお世話になりました関口先生、山口先生、クラスの友達への感謝の気持ちを忘れずに、これからは自分の行動や言動に責任を持ち、人の気持ちがかかる人間になって下さい。

また、入学と同時に硬式野球部に入部し、三年間、同級生が誰一人欠ける事無く「引退試合」「最後の夏大」を見て感動しました。真っ黒な練習着、家に帰った途端に寝ている姿、心配な時期もありましたが、三年間やり遂げましたね。野球の技術だけでなく、取り組む姿勢や考え方など、大きく成長させて頂きました。

私達、三年生保護者も助け合い楽しくサポートする事ができました。三年間、指導して頂きました渡辺先生、斉藤先生、大谷先生、善如寺先生、心より感謝申し上げます。三年間、野球部を続けた事を誇りに思い、高校生活で得たことを思い出し、これからの長い人生、もつともつと大きく成長して下さい。父母は見守っています。卒業おめでとう。

新井佳恵

とうとう、この日が来てしまいました。

長女のこの日は、この子が望み決めたこと喜ばしいことだと理解しているながらも、この手から離れる寂しさが込み上げて来ました。二番目の長男は、こんなものだと

感じながらもいざ卒業式、親として何を伝えたのだろうか、何ができたのだろうかと自問自答。そして末っ子、笑の番だ! 「昔の天使」よくそう呼んでいました。まだ言葉は見つかりませんが、今伝えるとしたら「いざ、進め!」そう、やはり私はあなたの背中を押す。あなたを導いてくれたコーチ、引け目を感じ戸惑うあなたに、勇気を与えてくれた先生、エールを送ってくれている友達。その思いを胸に大学バスケットリーグ、挑んで来て下さい。これからも、応援しているよ。

関 由紀子

商大に憧れ、商大でバレーをする心を決め、春高のオレngoコートに立つことを目標に、努力し続けた三年間でしたね。厳しい練習の中、辛く苦しく心が折れそうになった時も、決して逃げず、いつも笑顔で立ち向かっていましたね。最後の春高予選決勝、結果は思い描いていたものとは違ったけれど、決して諦めず、最後の最後までコートの中で仲間と笑顔で声を掛け続けた姿は、決して忘れませぬ。誰よりもかっこよく、キラキ

ラ輝いていたあなたを心から誇らしく思います。沢山の出逢いがあったの大きな財産です。全てに感謝の心を忘れず、これからの人生、きつと素敵な人生を歩んでいくと信じています。最後になりますが、愛情豊かにご指導下さいました先生方には、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

渡邊 亮治

もう卒業なの?と思うくらい、あつという間の三年間。どの高校に行こうか決めかねていて、とりあえず姉が通っていた高校にしておこうか。という軽い気持ちで入学した節もあり、最初は学校が楽しくなさそうだったね。朝になると「あーめんどうくさい!」と何度も言っているのを聞いて、三年間通えるのかなと心配しました。ところが今では学校での出来事や友達のことを楽しそうに話してくれます。すばらしい仲間に出会えて本当によかった。級友との別れを前にして、そう思えるようになってくれたことを嬉しく思います。卒業後の進路は自分で選んだ道です。もう「めんどうくさい」なん

て言わず、精一杯悔いのないように、青春を謳歌してください。

成長した娘を見て、誇らしい気持ちになりました。三年間一度も休まず通ってくれて本当にありがとうございます。

齋藤 敦子

ついこの間、入学したと思ったのが早いもので卒業を迎える時期になりました。初めは私も不安で、ちゃんと高校生活を送れるのか心配していましたが、友達も沢山で、好きな吹奏楽部に入部して、楽しそうに毎日学校に通っている姿を見てとても安心しました。この三年間は、学校の勉強もそうですが、吹奏楽部で仲間と一緒に毎日練習に励み、共に目標に向かって頑張ってきましたね。時に

は楽しい事ばかりでなく、辛い事もあったと思います。三年間辞める事なく仲間と成し遂げた事は立派です。演奏会では、あなたの成長した姿を見て何度涙が込み上げてきたことでしょう。この三年間私も沢山楽しませてくれました。ありがとうございます。

ここに来るまでには、沢山の人に支えてもらったことを忘れないで下さい。学校の先生、おじいちゃん、おばあちゃん、友達。みんなの支えがあったからです。これからの人生も感謝の気持ちを持って、相手を思いやる事を忘れずにね。最後に、私はいつでもあなたの味方です。これからもあなたらしく、将来の夢に向かって頑張ってください。ずっと応援しています。卒業おめでとう。

平成三十年度私立保護者連合会

平成三十年十月十二日

学校見学会に参加して

桐生第一高等学校

大島 昭一

今回の学校見学会で、桐生第一高校へ行きましたが、製菓衛生師コースや調理科と本格的な設備や

意外なコースが多くあったので、驚きました。

今回で三回目の学校見学会に参加でしたが、毎回いろいろな取り組みや活動状況を聞いて、有意義な

平成 30 年度 父母の会年間行事

月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	10	火	入学式(群馬音楽センター)
5	11	金	本部役員会
	19	土	平成30年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	25	金	高崎地区PTA会長及び管理職歓送迎会(エテルナ高崎)
	30	水	県私立小・中・高等学校保護者会連合会総会・情報交換会(ラシーネ)
6	8・9	金・土	県高P連総会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	15	金	第1回マナーアップ運動
	22	金	関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会理事会(ホテルメトロポリタン高崎)
	30	土	3年学年学級懇談会、役員反省会
7	1	日	2年学年学級懇談会、役員反省会
	8	日	1年学年学級懇談会、役員反省会
	11	水	第1回「商大附高だより」広報担当者会議(本校)
	14	土	欠席者対象学年学級懇談会
8	17	金	後援会合同夏季懇親会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
	29	水	関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会総会・研修会(ホテルメトロポリタン高崎)
9	14	金	第2回マナーアップ運動
	19	水	第2回「商大附高だより」広報担当者会議(本校)
10	12	金	西毛地区高P連指導者研究集会(サンピア高崎)
	12	金	県私立小・中・高保護者会連合会理事会・学校見学会(桐生第一)
	27・28	土・日	商大附高祭
11	16	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
	15	木	第3回マナーアップ運動
	20	火	私学振興全国大会(ホテルメルパルク東京)
	23	金	後援会・同窓会合同研修旅行(JAXA筑波宇宙センター・那珂湊市場)
12	12	水	第3回「商大附高だより」広報担当者会議(本校)
	11	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
	22	火	平成31年度群馬県私学振興大会(ラシーネ)
1	23	水	第4回「商大附高だより」広報担当者会議(本校)
	8	金	3年学年学級役員反省会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
	15	金	県私立小・中・高保護者会連合会理事会・学校見学会(関東学園)
3	1	木	第70回卒業式(群馬音楽センター)
	15	金	1・2年学年学級役員合同反省会

時間を過ごすことが出来ました。
 桐生第一高校の学校見学会に参加させて頂きました。学科コース
茂木幸恵

の中に製菓衛生師コースがあり、生徒たちがイベントに出すお菓子を作っている調理室に入り、先生から説明を受けました。高校でこのような専門的な分野を学べることはパティシエ等になりたい職業が

ある子たちにとっては魅力的なコースだと思いました。最後に校舎内を回らせて頂き、生徒、先生、保護者の方々より学校の明るい雰囲気を感じられ、いい刺激になりました。



お世話になります。
 先日の「エンジェルカフェ」一年生初めての事なので、三年生の父母の会の方達の様子を見たり、聞いたりして、二日間どうにか無事終わらせる事ができました。
 「ホッと」しております。
 三年生の時にまた行われるようで、その時には、一年生の時を思い出して一層「エンジェルカフェ」を盛り上げたいと思っております。
 楽しみにしております。

商大附高祭
 エンジェルカフェに参加して
 今井啓子

進路指導部より

【進学状況】

今年度の12月時点での入試結果

は、国公立大学のA.O・公募推薦での合格者が14名でした。その内訳は、筑波大学1名、群馬大学5名、群馬県立女子大学3名、高崎経済大学4名、公立諏訪東京理科大学1名となっております。昨年度の9名を大きく上回り、3年前の18名に迫る勢いとなりました。筑波大学に合格者が出たこと(特別進学選抜コース文系)、進学コースからクラブ関係以外で国立大学合格者が出たこと(群馬大学理工学部)に理系クラスから)、県立女子大学の国際コミュニケーション学部)にA.Oで合格したこと(国際文化コース)などが、主なトピックとして挙げられます。国公立大進学希望者は、2月25日(国公立前期試験)からの本番に向けて計画的かつ地道に努力を続け、一人でも多くの生徒が合格の栄冠を勝ち取ってくれることを祈っています。一方、私立大学は100名、短期大学は44名、専門学校は114名が、現

時点で合格しています。昨年度と比較しますと、短期大学合格者はほぼ変わらないものの、私立大学合格者が138名から大幅に減少し、専門学校合格者が91名から大幅に増加しています。

また、高崎商科大学・短期大学のI期推薦(専願の内部推薦)が11月に行われ、大学9名・短期大学部20名の、計29名が合格しました。昨年度が、大学28名・短期大学部12名の計40名でしたから、大学が大幅に減少し、逆に短大部が大幅に増加するという結果になっています。その原因として、総合ビジネス科の生徒の商大進学希望者が大幅に減少したこと、進学コースからの短大進学希望者が、大幅に増えたことが挙げられます。合格内定者は、大学等、進路先からの課題に前向きに取り組みとともに、4月までの時間を有効に活用し、高等教育を受けるための準備をしてほしいと思います。また、高崎商科大学・短期大学のII期推薦(併願推薦)では、大学17名・短期大学部6名の23名が希望し、合格しました。この「併願推薦」は、商科大学・短期大学部の附属高校に対する優遇措

平成30年度 進路希望調査 (進学志望)

	1学年 在籍 432			2学年 在籍 532			3学年 在籍 410			
	大学	短大	専門	大学	短大	専門	大学	短大	専門	
文系	文・人文	3	0	0	9	1	0	21	1	1
	社会・国際	26	2	2	18	7	3	24	5	0
	法・政治	2	0	0	7	0	0	7	0	0
	教育	7	1	1	13	1	0	3	0	0
	経済・経営・商	29	1	1	33	2	5	19	4	1
	芸術・スポーツ	16	2	11	19	1	13	11	2	5
	家政・生活	0	0	2	0	0	1	4	2	5
	総合・情報・人間	5	1	4	10	0	8	8	2	3
	幼児教育・保育	8	11	8	9	5	3	6	7	3
	理容・美容	0	2	20	1	4	17	0	1	18
	医療・福祉	3	0	3	7	2	8	8	3	8
	その他	4	0	7	5	3	22	8	4	25
	未定	55	7	8	41	3	14	18	7	1
理系	理学・工学	18	0	3	25	1	3	22	0	3
	農学	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	医・歯・薬	11	0	1	11	0	1	4	1	2
	教育	2	0	0	3	0	0	5	0	0
	医療(歯科・臨床)	6	0	0	7	0	8	7	0	7
	看護・保健	14	1	7	23	0	6	17	0	20
	動物	1	0	5	3	0	4	1	0	1
	その他	1	0	1	7	1	5	2	0	6
	未定	17	1	2	23	1	8	3	0	5
未定	44	1	9	24	3	5	6	4	8	
合計	273	30	95	299	35	134	204	43	123	

置の一つです。3年1学期終了時点の評定平均値3.5以上の希望生徒に対し、無料かつ入学試験免除で合格が与えられるとともに資格特待も適用され、入学手続きも3月22日(金)まで待つてくれるというものです。現在の1・2年生で、

一般入試による進学を考えている生徒は、この制度を積極的に活用してほしいと思います。2020年度からの「大学入学共通テスト」導入をはじめとする教育改革は、すでに始まっています。一例として、JAPAN e-Portfolio

を活用する大学 11 校のうち、29 の国・私立大学が、今年度から「入学選抜に係るデータとして活用」を始め、センター試験の問題傾向も変化を見せ、英語の外部試験を入試に導入する私立大学も増加の一途をたどっています。

このような現代にこそ必要とされるのが、全ての教科の基礎となる「国語力」と、情報分析能力です。授業や日々の勉学を通じて国語力を磨き、年々変化し複雑化する受験情報を収集・分析し、来るべき受験に備えていただきたいと思えます。「彼を知り己を知れば百戦殆うからず。(知彼知己、百戦不殆。)」の精神で、進路実現に向け努力することを望みます。

(進学指導主事・深澤 功)

【就職状況】

群馬県労働局では、平成 30 年 1 月末現在における今春の高校新卒者の求人、求職内定状況をとりまとめました。求人倍率は、前年同期(2・23倍)を0・32ポイント上回る2・55倍となり平成7年3月卒業以降、最も高い水準になりました。産業別に見ても

ほとんどの産業で増加しています。求人数は、前年同期(7・186人)に比べ14・6%増の8・236人となり、求職者は前年同期(3・220)人に比べ0・1%増の3・224人となりました。就職内定者数は引き続き高い求人倍率を反映し、前年同期(3・054)人に比べ2・1%増の3・117人となり、就職内定率も前年同期94・8%に比べ、1・9ポイント上回る96・7%となり、1月末時点での内定率としては平成6年3月卒業以降、最も高い数値となりました。

現場でも実際に手ごたえのある状況となっております。求人は7月1日以降学校に配布されますが、昨年同様9月に入っても途絶えることがありませんでした。その後9月16日以降から始まる就職試験に臨み今年は9割の生徒が内定を頂きました。しかし残念ながら不採用となった生徒たちは、今年は「がんばれ高校生」が開催されたため、新たに学校に来る求人や、WEB検索で探したところ、12月までにほとんどの生徒は内定をいただくことが出来ました。

職種では、やはり高校生は製造

業が多く、次にサービス業、小売業が好調で今年は事務採用も目立ちました。介護関係は募集は多く来ますが、希望が出ないのが現状です。

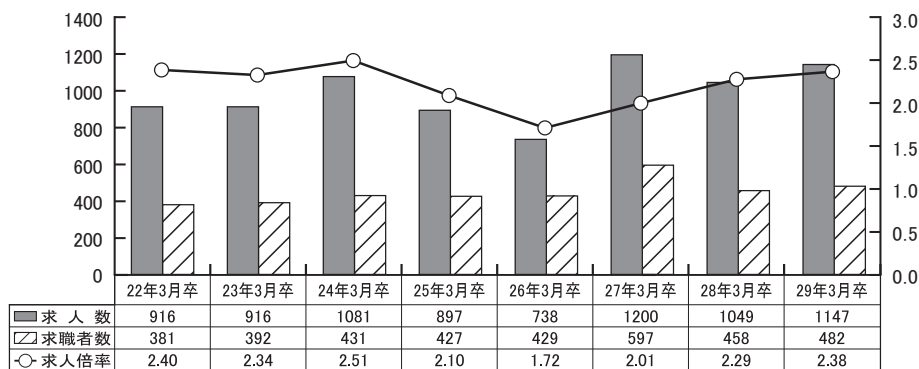
自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは決して簡単なことではありません。しかも決められた時間内に決断しなければならぬわけですから。そのためにも、就職指導部では、早い時期から就職希望者に具体的な内容の指導を行って行きたいと思っています。

高校生の就職の選考は一人一社制で、9月中旬から始まります。

10月1日以降は一人二社までの応募が可能となります。先ほども述べましたが、今年はこの時期でも、多くの企業の募集がありました。しかし12月の声を聞くと、さすがに求人は少なくなり、売り手市場とは言われていますが、厳しくなってきたのが現実です。

就職するにあたって、迷ったり、どんな職種が自分に向いているのか悩んだりしている時は、是非、就職指導部に来てもらえば、必ず希望の企業が見つかるまでサポートしますし、同時に模擬面接、試

求人数・求職者数
求人倍率の推移
(高崎市内分)



験対策も指導します。どうぞ遠慮なく相談してください。

最後に、企業に採用されるためには、あらためて、言葉づかいや身だしなみなどを注意してほしいと思います。また、体調管理、言葉遣い、マナーや常識についても同様です。企業にとって一番重要視される「コミュニケーションの取り方」についても普段から身に着けておくことが、とても大切です。(職業指導主事 水上 浩)

生活指導部より

「子育てにも

コーチングを」

この一年、スポーツを取り巻くパワハラが世間の注目を集めました。その裏には日本のスポーツ界を含めた社会の中に、まだまだ封建的な前時代の悪習が残っていることの証なのかもしれません。

本校にも運動部を含め多くの部活動が存在しています。同じ目標を目指し、切磋琢磨し互いを高めながら人間としても成長するべき場が、高校の部活動のあるべき姿です。そんなこともあり、十二月

には部活動集会を開催しました。現在指導の場では、コーチングという言葉がキーワードとなっています。ティーチング(教える)・カウンセリング(聴く)との違いは、双方方向のコミュニケーションをとりながら本人を支援していくということとです。何かできない事があると、人は叱りがちになってしまいます。そればかりが多くなると本人は自分がダメな人間だと落ち込むばかりです。そこで思いきってプラスのメカネをかけてみて下さい。相手に対し、肯定的な未来が開けるようヒントを出しながら支援していくというものです。ご家庭でお子さんに否定的な言葉ばかりかけていませんか?子育てにもぜひコーチングを活かしてみて下さい。(生徒指導主事 田沼稔夫)

保健指導部より

学校保健委員会

開催報告

本校では十四年前から年に一回、学校保健委員会を開催しています。学校保健委員会とは、学校におけ

る様々な健康問題を研究協議し、生徒の健康づくりを学校、家庭、地域社会等で協力しながら推進する組織です。今年度は、二期期の期末考查最終日に「よりよい睡眠をとるために」〜今日からできる眠りの工夫〜をテーマに開催しました。会には、各クラスの保健委員、生徒会本部役員、管理職や保健指導部等の関係職員に加え、指導・助言者として学校医、学校歯科医の先生方、保護者の代表として父母の会役員の方々に出席していただきました。平日の昼間にも関わらず、出席して下さった皆様に感謝申し上げます。

当日は保健委員の代表十三名が二期期中に調べた睡眠のメカニズムや記憶力との関係、眠気解消法などの発表を行いました。高校生の日常は勉強や部活動に加え、スマートフォン等の電子機器も生活と切り離せない存在になっている場合が多いです。一日二十四時間という限られた・みんな平等に与えられた時間をどう使うか、自分で考え、決めていかなければいけません。勉強や心身の健康に大きな影響を与える「睡眠」について、見直すきっかけにしてほしいとい

うメッセージを込めた発表でした。後日、全校生徒向けにテレビ放送も行いました。発表を担ってくれた十三名は緊張の連続でしたが、堂々と立派に務めてくれました。生徒たちには、今をよりよく生きるということに加えて、どんな社会になるかわからない未来を生き抜く力をつけていってほしいと願っています。高校生の時期に、生活を自分で見直し、よりよくして生きる力を身に付けさせることは、生徒たちへの一生もののプレゼントになると信じて、今後も家庭と連携していきたいらと考えています。(養護教諭 土屋 悠 中野温子)

質のよい睡眠をとるための7つの方法

1. 日中、体を動かし汗をかく程度の運動をする
2. 夕食は就寝3時間前までに、間に合わない場合は消化のよいものにして、食べ過ぎない
3. スマホは就寝2時間前まで、遅くとも30分前には使用をやめる
4. 入浴は就寝1時間前までに、ぬるめの湯船に5分以上浸かる
5. 6時間または7時間半睡眠にする
6. 起床時はカーテンを開けたり電気をつけて部屋を明るくする
7. 朝食は炭水化物とタンパク質をバランスよく食べる
→ てきそうなのだけでもOK! 3週間続けてみよう





商大附高 Information

— Topics —

- ① INTERNATIONAL WEEK
- ② 金融教育授業
- ③ 第3回マナーアップ運動
- ④ 創立者墓参
- ⑤ 歳末募金(インターアクトクラブ)

① INTERNATIONAL WEEK



9月26日(水)～28日(金)の3・4校時を利用して普通科国際コースでINTERNATIONAL WEEKを開催しました。初日は、JICA

群馬オフィスの佐藤先生を招いて「国際協力」に関する講義と異文化理解のワークショップを行いました。2日目は、シアトル海外研修とベトナム SSP(ショートステイプログラム)の参加者15名による研修報告やFamily Historyのプレゼンテーションを行いました。3日目は、グループワーク“Why are you learning?” “Why do you think education is necessary?”を行いました。世界には学校に行けない子供たちが6千百万人いることをユニセフの動画で紹介し、教育の必要性を訴えたマラウさんの活動について動画やスライドを観て学び、教育の意義についてグループで話し合いグループごとに発表しました。ワークグループ中の活動はすべて英語で行っています。

② 金融教育授業



11月16日(金)の5・6校時、群馬銀行の若手の行員の方たちを講師として、3年8クラスで金融教育授業を

行いました。今回の授業の様子は、上毛新聞や群馬テレビで放映されました。

— 先生は若手行員 —

地域社会への貢献について若手行員に考えてもらおうと群馬銀行は16日、2年目の行員が出向く金融教育授業を高崎商科大附属高で実施した。授業のテーマは「お金との上手な付き合い方」で、

3年が対象。行員55人が8クラスに分かれ、銀行業務の基本や、人生でどの程度お金が必要かといった点を、対話しながら分かりやすく教えた。滝沢和加奈さんは「結婚や老後と言っても実感が湧かないが、よく考えてみると身近なことだと思えた」と受け止めていた。(上毛新聞 11月17日朝刊より抜粋)

③ 第3回マナーアップ運動



6月・9月に行われたマナーアップ運動に続いて、11月15日(木)に第3回マナーアップ運動を行いました。

マナーアップ運動は、高校生の自転車・電車・バス・歩行者などの通学時のマナーの向上を目的とした運動です。今回は、教員・父兄の代表約20名が、駅や交差点に立ち、高校生に声をかけたりマナー違反を注意するなどの活動を行いました。

④ 創立者墓参



11月21日(水)の防災訓練の後に、全職員、生徒会、生徒代表(委員長・副委員長)で学園創立者の墓参(長松寺)を行いました。

⑤ 歳末募金(インターアクトクラブ)



多様なボランティアに取り組む高崎商科大附属高のインターアクトクラブ(市川紗未部長)は12月23日、JR高崎駅で年末恒例の募金活動を実施した。高崎南ロータリークラブ(松本金弥会長)と高崎セントラルロータリークラブ(関口朋克会長)も加わり、計56名が参加。募金箱や「歳末助け合い」と書かれたパネルを持ちながら、通行人や買い物客に「ご協力お願いします」と呼び掛けられた。(上毛新聞 12月25日より抜粋)

平成29年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成29年度決算につきましては、平成30年5月28日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に続き過去16年間「Aランクの状態」（正常状態）に位置しており、財政基盤は安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度決算より財務関係書類が一部変更されています。また、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成29年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,223,235千円を加え、合計で5,039,107千円となり、手数料収入、前受金収入及びその他の収入等で増加しましたが、学生生徒等納付金収入、寄付

金収入、補助金収入及び付随事業・収益事業収入等が減少したことで、予算に対しては103,480千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したことで、翌年度繰越支払資金は予算に対し12,186千円増加して、1,778,454千円となり、昨年から444,781千円の減少となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,393,717,030	1,391,886,110	1,830,920
手数料収入	48,209,970	49,060,400	△ 850,430
寄付金収入	21,317,400	21,237,947	79,453
補助金収入	711,912,164	660,970,999	50,941,165
資産売却収入	250,700,000	250,700,000	0
付随事業・収益事業収入	29,660,000	27,655,102	2,004,898
受取利息・配当金収入	22,121,538	21,859,304	262,234
雑収入	39,358,811	39,203,409	155,402
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0
前受金収入	234,500,000	250,302,000	△ 15,802,000
その他の収入	121,375,405	128,540,559	△ 7,165,154
資金収入調整勘定	△ 253,519,500	△ 325,543,946	72,024,446
前年度繰越支払資金	2,223,235,597	2,223,235,527	
収入の部 合計	5,142,588,345	5,039,107,411	103,480,934
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,276,490,030	1,274,082,694	2,407,336
教育研究経費支出	521,469,323	498,035,604	23,433,719
管理経費支出	163,785,242	148,142,937	15,642,305
借入金等利息支出	4,549,440	4,549,440	0
借入金等返済支出	61,090,000	61,090,000	0
施設関係支出	703,674,091	696,666,543	7,007,548
設備関係支出	141,548,920	132,226,021	9,322,899
資産運用支出	423,942,555	423,942,555	0
その他の支出	71,023,776	66,822,855	4,200,921
〔予備費〕	31,309,898		31,309,898
資金支出調整勘定	△ 22,562,715	△ 44,905,516	22,342,801
翌年度繰越支払資金	1,766,267,785	1,778,454,278	△ 12,186,493
支出の部 合計	5,142,588,345	5,039,107,411	103,480,934

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにして、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

平成29年度の事業活動収入は、予算に対して51,947千円減の2,216,205千円、事業活動支出は予算に対して90,261千円減の2,193,063千円で、基本金組入前当年度収支差額は23,142千円の収入超過となりました。また、施設・設備の整備や育英基金等の基本金組入額

の合計が511,538千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は488,395千円の支出超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の655,599千円を加え、翌年度繰越収支差額は167,204千円となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額（＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計））は、21,936千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）も「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,393,717,030	1,391,886,110	1,830,920
		手数料	48,209,970	49,060,400	△ 850,430
		寄付金	14,557,400	15,558,430	△ 1,001,030
		経常費等補助金	708,172,164	657,230,999	50,941,165
		付随事業収入	29,660,000	27,655,102	2,004,898
		雑収入	39,358,811	39,561,549	△ 202,738
	教育活動収入計	2,233,675,375	2,180,952,590	52,722,785	
	支出の部	人件費	1,295,212,585	1,292,805,249	2,407,336
		教育研究経費	743,582,059	717,151,220	26,430,839
		管理経費	173,514,874	157,878,641	15,636,233
徴収不能額等		8,491,000	8,491,000	0	
教育活動支出計	2,220,800,518	2,176,326,110	44,474,408		
教育活動収支差額		12,874,857	4,626,480	8,248,377	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	22,121,538	21,859,304	262,234
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	22,121,538	21,859,304	262,234
	支出の部	借入金等利息	4,549,440	4,549,440	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	4,549,440	4,549,440	0
教育活動外収支差額		17,572,098	17,309,864	262,234	
経常収支差額		30,446,955	21,936,344	8,510,611	
特別収支	収入の部	資産売却差額	1,605,999	1,605,999	0
		その他の特別収入	10,750,000	11,787,977	△ 1,037,977
		特別収入計	12,355,999	13,393,976	△ 1,037,977
	支出の部	資産処分差額	12,187,711	12,187,710	1
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	12,187,711	12,187,710	1
特別収支差額		168,288	1,206,266	△ 1,037,978	
〔予備費〕		45,786,665		45,786,665	
基本金組入前当年度収支差額		△ 15,171,422	23,142,610	△ 38,314,032	
基本金組入額合計		△ 538,832,470	△ 511,538,170	△ 27,294,300	
当年度収支差額		△ 544,003,892	△ 488,395,560	△ 65,608,332	
前年度繰越収支差額		655,599,800	655,599,800	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		101,595,908	167,204,240	△ 65,608,332	
事業活動収入計		2,268,152,912	2,216,205,870	51,947,042	
事業活動支出計		2,283,324,334	2,193,063,260	90,261,074	

- ・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金(含む現物寄付)、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成29年度末の総資産は、前年度末に比較して268,671千円の増加となり、本年度末11,058,957千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大の新校舎建設とこれに伴う機器備品及び研究室PCの更新等、高校の豊岡グラウンド補修工事や並榎キャンパス体育館の補修工事、IT教育ルームの更新等、幼稚園の園舎改修工事やピアノの入替え等で資産の増加があり、合計では前年度に比べ592,086千円の増加、「特定資産」が育英基金や周年事業資産への増加により前年度に比べ123,942千円の増加、「その他の固定資産」が有価証券の増加等により前年度に比べ49,049千円増加し、「固定資産」全体では、本年度末9,175,088千円となり、前年度より765,078千円増加しました。また、「流動資産」は、大学・短大の新校舎建設に伴い現金預金等が減少したことから、本年度末1,883,869千円となり、前年度に比べ496,406千円減少しました。

負債の部は、「固定負債」が945,932千円で、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金等が増加したことにより前年度に比べ230,597千円増加し、「流動負債」は429,950千円で、前年度に比

べ14,931千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して245,529千円の増加となり、本年度末1,375,883千円となりました。

また、純資産の部は、基本金が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で9,515,870千円となり、前年度に比べ511,538千円増加しました。繰越収支差額は488,395千円減少し、前年度末の繰越収支差額655,599千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は167,204千円となりました。

これらの結果、純資産の合計は9,683,074千円となり、対前年度で23,142千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,175,088,657	8,410,009,937	765,078,720
有形固定資産	7,639,426,575	7,047,340,314	592,086,261
特定資産	264,176,951	140,234,396	123,942,555
その他の固定資産	1,271,485,131	1,222,435,227	49,049,904
流動資産	1,883,869,175	2,380,276,000	△ 496,406,825
資産の部 合計	11,058,957,832	10,790,285,937	268,671,895
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	945,932,856	715,335,197	230,597,659
流動負債	429,950,405	415,018,779	14,931,626
負債の部 合計	1,375,883,261	1,130,353,976	245,529,285
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	9,515,870,331	9,004,332,161	511,538,170
第1号基本金	9,305,933,700	8,795,395,530	510,538,170
第3号基本金	54,936,631	53,936,631	1,000,000
第4号基本金	155,000,000	155,000,000	0
繰越収支差額	167,204,240	655,599,800	△ 488,395,560
純資産の部 合計	9,683,074,571	9,659,931,961	23,142,610
負債及び純資産の部 合計	11,058,957,832	10,790,285,937	268,671,895

編集後記

今回発行の第83号が、平成最後の『商大附高だより』となりました。

31年前の1月7日、「新しい年号は『平成』であります。」という故小淵恵三総理（当時の官房長官）の歴史的な記者会見から始まった平成。昭和62年4月に赴任し、今年で33年目を迎える私の教員生活は、まさにこの平成と共に歩んできたわけです。4月1日には、新元号が発表されます。第84号は、新しい年号のもとで発行される記念すべき『商大附高だより』となります。

来年、2020年には、いよいよ「東京オリンピック」が開催されます。ロンドンオリンピック代表で、現在もバレーボールVリーグ、デンソーエアリービーズの選手として活躍する石田瑞穂選手をはじめ、ジャカルタで開催されたアジア大会フェンシング競技女子サーブル個人・団体の銅メダリスト田村紀佳選手、アーチェリーの世界フィールド選手権大会の銅メダリスト（日本人初）深澤菜見選手、空手道のナショナルチームで活躍している清水那月選手、2018年集英社ノベル大賞を受賞し、『風が強く吹いている』や『舟を編む』など

の作品で知られる作家、三浦しん氏が惚れ込んだという新人作家、佐倉ユミさんなど、今後の活躍が期待されている多くの卒業生が、平成のこの30年間に本校を巣立ちました。次の新しい時代には、どんな『ミライ☆モンスター』が本校から現れるのでしょうか？期待が膨らみます。

私は55年前の東京オリンピックが開催された10月に、生まれました。名前もオリンピックが由来です。残念ながら、私自身はオリンピックにはなれませんでした。教員生活の折り返し地点を回った今、改めて本校の建学の精神である「自主・自立」、校訓である「親愛・礼節・整美」、そして「4つの力（人間力、知力、国際力、情報力）の向上」を念頭に、様々な分野で活躍できる人材の育成に微力ながら貢献出来たらと考えます。

最後に、平成の最終号である『商大附高だより第83号』に寄稿頂きましたご父母の皆様及び先生方に感謝御礼申し上げます。（井出）

広報編集担当者

新井 幸子 (F2-1) 大塚 直子 (F2-1)
小林 保世 (F2-10) 朝倉 京子 (F2-10)
岡田 里織 (F2-12) 片平久美子 (S2-2)

2 学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名(会場)	期日	成績
空手道部	第73回国民体育大会空手道競技 (福井県敦賀市総合運動公園体育館)	10月6日 ～8日	少年女子組手個人戦 4位 F3-7 小峯杏子
	第46回全日本空手道選手権大会 (8日 東京武道館、9日 日本武道館)	12月8日 ～9日	女子組手競技団体戦 出場 F3-7 小峯杏子、S2-3 關塚佳代 女子個人組手 出場 S2-3 關塚佳代
	平成30年度関東高等学校空手道 選抜大会(埼玉県立武道館) 出場予定	平成31年 1月26日 ～27日	男子団体組手・男子個人組手軽量級 F2-7 萩原創太 女子団体形・女子団体組手 女子個人形 F1-8 高梨志帆 女子個人組手軽量級 F1-9 竹内海里 女子個人組手中量級 S2-3 關塚佳代、F1-7 平井菜々実 女子個人組手重量級 F1-10 知久瑠璃子
アーチェリー部	関東高等学校アーチェリー選抜 大会 (栃木県那須烏山市大桶運動公園)	11月17日 ～18日	男子個人 33位 F2-6 白石鷹海、F2-2 齋藤俊介、S2-1 山本傑、 F2-11 平澤雅也、F3-4 水野 颯、57位 F2-11 藤井厚希 女子個人 9位 F2-7 布施遥香、F2-10 羽鳥真菜、 17位 F2-8 今井陽菜、F3-6 今井奈那、F3-1 室井麻佑
	全国高等学校アーチェリー選抜 大会(静岡県掛川市) 出場予定	平成31年 3月25日 ～28日	男子個人 F2-6 白石鷹海 女子個人 F2-7 布施遥香、F2-10 羽鳥真菜
フェンシング部	北関東フェンシング選手権大会 (水戸市民体育館)	9月1日 ～2日	女子個人フルール 4位 F2-12 岡田梨良 女子個人サーブル 2位 F2-12 岡田梨良 女子団体フルール 2位 F3-9 設楽ゆひな、F2-12 岡田梨良、 阿藤零、F1-10 小林叶佳 女子団体サーブル 2位 F3-9 設楽ゆひな、F2-12 岡田梨良、 S2-3 塚越愛菜、S2-2 清水愛
	国民体育大会 (越前市 AW-1スポーツアリーナ)	10月1日 ～2日	少年女子 2回戦敗退 F3-9 設楽ゆひな、F2-12 岡田梨良、F1-10 小林叶佳
	全日本フェンシング選手権個人戦 (駒沢体育館)	12月7日 ～8日	女子個人サーブル 38位 F2-12 岡田梨良 女子個人サーブル 65位 F2-12 岡田梨良
	全日本フェンシング選手権個人戦 (水戸市民体育館)	12月20日 ～21日	女子団体フルール 出場 F2-12 岡田梨良、阿藤零、S2-3 塚越愛菜、F1-10 小林叶佳
	関東高等学校選抜フェンシング 大会	平成31年 1月18日 ～20日	女子団体フルール 2位 F2-12 岡田梨良、阿藤零、S2-3 塚越愛菜、 S2-2 清水愛、F1-10 小林叶佳 女子団体サーブル 2位 F2-12 岡田梨良、S2-3 塚越愛菜、S2-2 清水愛 女子団体エペ 出場 F2-12 阿藤零、F2-5 須藤美羽、F1-10 小林叶佳、 F1-7 加藤夕佳
バップ アーツ部	第2回カラーガード・マーチング パーカッション全国大会	平成31年 2月3日	高校カラーガード部門 F3-10 櫻澤優花、松田安莉、稲川亜美、S3-1 藤原明々香、F3-6 沼田季と花、 F3-8 齋藤ななみ、F2-3 坂口愛依莉、F2-6 多胡 葵、F2-7 牧口瑠夏、 山口雛里、F2-8 山田茉優、F2-12 笠原香穂、S2-1 井上愛望、遠藤花純、 F1-4 青山由衣、岩井朱里、F1-5 平柳伶奈、方柔婷、F1-6 秋山夢叶、 F1-7 福島美咲、F1-8 高木美羽、武井詩歩、F1-9 橘ひかる、 S1-1 田島奈波、丸岡玲菜、宮崎優梨、S1-2 大竹由真
バトント ワリング部	第53回バトントワーリング関 東大会	11月10日	高等学校の部 バトン編成 銀賞 F3-6 下山雪月花、F3-4 伊藤楓果、F2-1 内田華瓜、F2-5 新井菜月、 F2-12 若松さくら、F2-10 入澤朱里、F2-9 吉田愛理、F2-11 松本望来、 S2-3 高橋玲香、F1-3 金澤羅蘭、F1-3 中島千月、F1-3 人見莉珠、 F1-5 高橋柚杏、F1-5 千明佳奈、F1-6 常盤奏美、F1-7 佐藤愛歌、 F1-7 中島有彩、F1-10 後藤あいり、F1-11 佐々木叶音、S1-2 伊藤莉央
放送部	第65回 NHK 杯全国高校放送コ ンテスト全国大会(東京)	7月23日 ～25日	テレビドキュメント部門 準々決勝 ラジオドキュメント部門 準々決勝 テレビドラマ部門 準々決勝 ラジオドラマ部門 準々決勝 出場者 S3-1 内堀翔大、F3-1 山内瑠衣、土屋玲渚、F3-2 武田千明、 F3-4 浅野菜月輝、儘田亜依香、F2-1 大澤菜々、F2-11 武井明佑奈
	第42回全国高校総合文化祭信 州大会 (長野県岡谷市)	8月8日 ～11日	ビデオメッセージ部門 文化連盟賞 オーディオピクチャー部門 文化連盟賞 出場者 S3-1 内堀翔大、高橋駿、高橋海吏、S3-2 永島康太郎、 F2-1 大澤菜々、本庄晴香、F2-2 藤井美紅、鶴崎絢音